

「当用漢字表」から「常用漢字表」へ変更時の対応

1 常用漢字表への変更の概要

(1) 字 種

当用漢字表 1850字 → 常用漢字表 1945字

追加：95字 削除：なし

字体を改めた字：1字（「燈」→「灯」）

追加音訓：7字（榮「はえる」、憩「いこう」、香「かおる」など）

(2) 経 過

昭和56年3月 国語審議会「常用漢字表」（答申）

昭和56年10月1日 「常用漢字表」内閣告示

2 常用漢字表制定時における学校教育上の対応

〔小学校〕

○ 学習指導要領の一部改正（昭和56年10月1日）

- ・ 学年別漢字配当表の第4学年の「燈」を「灯」に改める。
（その他学年別漢字配当表（996字）は変更せず）

〔中学校〕

○ 学習指導要領の一部改正（昭和56年10月1日）

- ・ 「当用漢字」の表記を「常用漢字」に改める。
- ・ 第3学年について「更にその他の当用漢字も読むこと」を「更にその他の常用漢字の大体も読むこと」に改める。（第1学年及び第2学年の取扱いは変更せず）

〔高等学校〕

○ 学習指導要領の一部改正（昭和56年10月1日）

- ・ 「当用漢字」の表記を「常用漢字」に改める。（取扱いは変更せず）

※ 小・中・高等学校とも昭和56年度中は従来どおりの指導。昭和57年度以降、改正後の学習指導要領により指導。

〔教科書の措置〕

- 常用漢字表に基づく新しい表記は、昭和58年度使用教科書から実施。
- 昭和58年度以降使用する中学校第3学年国語教科書、高等学校の「国語Ⅰ」及び「国語Ⅱ」の教科書には、巻末に常用漢字表を掲載。
- 教材の差し替えについては、検定サイクルに合わせて実施。

〔入学者選抜試験における漢字の出題範囲〕

- 高等学校については、昭和57年度入試は当用漢字表の範囲内で出題。
- 大学については、昭和59年度入試までは当用漢字表の範囲内で出題。

3 長期的な対応

(1) 平成元年3月改訂の学習指導要領

- ・ 小学校の学年別漢字配当表を見直し、総字数を996字から1006字に増加。
- ・ 中学校及び高等学校については変更なし。

(2) 平成3年3月

- ・ 「学校教育における音訓の取扱いについて」（初等中等教育局長通知）を発出。